

研究課題名「安静時および事象誘発脳活動における脳内神経接続に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

名古屋大学大幸キャンパス内の掲示による健常成人の公募であるため、研究対象者は自身の意志によって参加をする

2. 研究目的・方法

目的: 健常成人を対象とし、脳内の神経活動接続について脳波と脳磁図を用いて明らかにする。

方法: 健常成人のべ 120 名を対象とし安静時および各種刺激によって生じる誘発脳反応を脳波および脳磁場により測定する。研究は本学(名古屋大学 脳とこころの研究センター)で実施する。安静時脳活動の測定では、刺激や課題の無い閉眼安静座位あるいは安静臥位の姿勢の 4 分間で覚醒脳活動を記録する。誘発脳反応計測には①体性感覚誘発刺激、②視覚刺激、および③聴覚刺激を用いる。①体性感覚刺激: 上肢(正中神経)および下肢(脛骨神経)の体性感覚誘発脳反応を記録する。手指あるいは足指が軽く動く程度の弱く短時間の電流(5-6mA、0.2 ミリ秒)を用いる。50~100 回の刺激による脳神経活動を記録する。②視覚刺激: 被験者の前方 50cm に設置したスクリーン上に文字や単純な図形、画像を呈示する。被験者は画面中央を見つめる。刺激は 20~50 回を繰り返し計測時間する。③聴覚刺激: 被験者はイヤホンを着用し、単純な音や短い旋律を聴取する。①~③のいずれも測時間は各約 2 分間である。被験者には、休憩をはさんで安静時脳活動および誘発脳活動を計測する。

研究期間: 2017 年 10 月 1 日~2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

資料: 計測した脳磁場データ(数値データ)

情報: 年齢、性、被験者番号(個人を特定できない番号)

※本研究は健常成人を対象としたもので、年齢と性別以外の情報は取得しない。個人の特定や別の資料との対応表を必要としない

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

寶珠山 稔(ほうしやま みのもる)

名古屋大学 脳とこころの研究センター／

名古屋大学 大学院医学系研究科（大幸地区）

〒461-8673

名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 20 号

TEL./FAX: 052-719-3159

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

名古屋大学 脳とこころの研究センター・寶珠山 稔（ほうしやま みのる）